

ステップ① プロが厳選した、まだまだ成長する「順張り銘柄」①

ジャンル	銘柄名(コード)	最低投資金額	配当利回り	内容(括弧内は選者)
A-半導体	キオクシアホールディングス(285A)	222万7000円	無配	データセンター向け大容量記憶装置の需要拡大で営業利益2兆円へ(天野・岡村)
	古河電気工業(5801)	269万1000円	0.68%	データセンターの増加で電力需要増に。光ファイバーや電力ケーブルが強み(河合)
	ダイフク(6383)	62万5700円	1.29%	フィジカルAIで注目。物流プロセスの作業を支える機器でシェア拡大(天野・河合)
	安川電機(6506)	50万9700円	1.30%	フィジカルAIの取り組みを強化中。産業用ロボットで、ものづくりを牽引(岡村)
	TDK(6762)	23万7000円	1.42%	データセンター向けHDDの需要拡大のほか、レアアース事業も拡大中(天野・田嶋)
	santec Holdings(6777)	201万3000円	1.04%	光技術が強みとする電子機器メーカー。データセンター関連で注目が集まる(雨宮)
	ファナック(6954)	65万4200円	1.55%	フィジカルAIを強化。産業用ロボットでは世界シェアトップを誇る(天野・岡村)
	フルヤ金属(7826)	79万1000円	1.62%	工業用貴金属製品の製造販売を行う素材メーカー。高難度の加工技術を保有(雨宮)
	東京エレクトロン(8035)	443万8000円	1.36%	半導体の製造装置で世界シェア。2nmプロセスの実現には同社の技術が不可欠(岡山)
造船・海運	日本製鉄(5401)	6万6400円	3.56%	船舶に不可欠な高級鋼材を扱う素材メーカー。円安の影響で国内生産回帰へ(河合)
	古野電気(6814)	80万1000円	1.81%	船のレーダー、航海機器などで世界トップシェアを誇る好業績企業(たけぞう・田嶋)
	三井E&S(7003)	77万2900円	0.61%	船舶用エンジンなどを手掛ける重工メーカー(天野・河合・たけぞう・田嶋・仲村)
	名村造船所(7014)	55万1000円	0.71%	国内4位の造船会社。運航船のほか防衛省向けの艦艇修繕事業も(天野・岡山・河合)
	商船三井(9104)	55万500円	3.67%	世界の海上輸送量の約8%のシェア。造船ではないものの注目を集めている(河合)
量子	日本電気(6701)	36万7300円	0.81%	NECは量子コンピューティングへの大規模な技術開発で注目を集める(天野・仲村)
バイオ	宝ホールディングス(2531)	16万円	2.00%	バイオ研究支援大手のタカラバイオをTOBで完全子会社化すると発表し話題(天野)
	第一三共(4568)	29万7800円	2.67%	乳がん治療薬などの新薬を次々と開発している。収益に大きな期待が持てる(坂本)
航空・宇宙	東レ(3402)	13万2500円	1.56%	炭素繊維複合材をボーイング社に独占供給する契約を締結。注目のメーカー(天野)
	IHI(7013)	41万3300円	0.45%	ジェットエンジンに強み。高い技術力を誇る大手総合重工メーカー(岡山・河合)

今年から政府は「造船業再生ロードマップ」を本格始動させ、官民連携して日本の船舶建造量を35年までに倍増させる目標を掲げる。これに注目するのが、マーケットバンク代表の岡山憲史氏だ。「かつて隆盛を誇った日本の造船業ですが、近年は中国や韓国勢の後塵を拝していました。そこで安全保障や米国の連携の観点からも、自国で建造する機運が高まっています。業界ではオールジャパン態勢による再編が加速しており、中韓勢に対抗するための大規模な設備投資や技術開発

銘柄の選者：天野秀夫、雨宮京子、岡村友哉、岡山憲史、河合達憲、坂本慎太郎、たけぞう、田嶋智太郎、仲村幸浩(五十音順・敬称略・肩書きは本文参照)。数字は2月24日時点

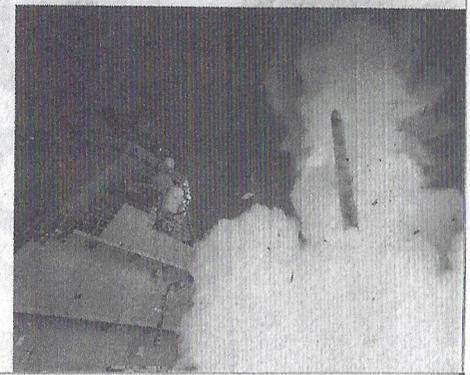
STEP 1
「順張り」国策銘柄 57
A-1 防衛・エネルギーほか
こういいうときは素直になろう

「さらなる株高」の本命を探せ!

高市早苗政権の経済政策に期待して日本株を買う「高市トレード」は、これからの本命銘柄だ——今回取材した9名の識者のうち、実に8名が今後のさらなる株高を予想した。その一人、三菱UFJエスエム証券チーフストラテジストの河合達憲氏はこう言う。「高市トレードで買われる銘柄が、広がりを見せられました。これは大相場になる時の特徴です。日経平均株価6万円という数字は通過点に過ぎず、今から2〜3割の上昇も近いと思っています。高市相場がスタートして以

降、右肩上がりで株価が上昇している銘柄も少なくありません。これから投資して間に合うのか、不安な人も多いでしょう。上昇相場に乗れない人は、上昇スピードがさらに速くなると、ますます入りにくくなります。そこでおすすめしたいのは、最低投資単元である100株で構わないので、少額でも買いポジションを持つことです。ポジションを持つと、上昇時は利益確定やさらなる買い増し、下落時は追加購入など複数の投資戦略が取れます。見ているだけの状態を避けることで、投資

心理の安定も図れます」高市総理は昨年11月、政府が重点投資を行う17の戦略分野を選定。今回、本誌はこれに沿った銘柄選択を識者に依頼した。株式コメントーターの岡村友哉氏は、筆頭の「A-1 半導体」分野に注目する。「衆議院で3分の2超の議席を獲得した高市政権という強力な後ろ盾を得て、日本株の投資環境はかつてないほど恵まれています。そのなかでも「高市銘柄」の象徴と目されているのが、キオクシアホールディングス(旧東芝メモリ)です。同社の半導体メモリーはA-1向けデータセンターからの引き合いが強く、第4四



ミサイル事業も手がける財閥系企業に注目が集まる

ステップ① プロが厳選した、まだまだ成長する「順張り銘柄」③

ジャンル	銘柄名(コード)	最低投資金額	配当利回り	内容(括弧内は選者)
防災・国土強靱化	清水建設(1803)	34万9000円	1.88%	自社研究所の規模が大きく脱炭素、宇宙、海洋など実験的領域にも進出中(河合)
	鹿島建設(1812)	69万6400円	1.86%	土木と建築のどちらにも優れるバランス型。自社不動産開発や海外展開も注力(河合)
創業	住友ファーマ(4506)	22万4100円	無配	先端医療会社。iPS細胞を用いた再生医療製品の商用化で先行している(天野・岡山)
	中外製薬(4519)	101万円	1.32%	バイオ医薬品とAI創業の開発に強みがある。医薬品メーカーの中核的存在(天野)
	富士フィルムホールディングス(4901)	29万8900円	2.33%	がんや再生医療に積極的に投資を行う。英国で抗体医薬品の原薬製造にも着手(天野)
エネルギー	フジクラ(5803)	251万9000円	0.93%	この分野で不可欠な「超電導線材」で世界をリードするメーカー(岡山・河合・仲村)
	日立製作所(6501)	48万1300円	0.93%	核融合炉開発の中核企業。装置・機器を開発供給するメーカーとして存在感(天野)
アルテ	信越化学工業(4063)	59万3000円	1.84%	半導体材料やレアアースなどの重要鉱物・素材を手掛ける大手化学メーカー(岡山)
防衛産業	三菱倉庫(9301)	13万9000円	2.62%	港湾の「サイバーセキュリティ強化」と「自動化」が国策となり注目(岡山・河合)
	日清紡ホールディングス(3105)	17万6000円	2.10%	同社の中核子会社が防衛技術にも使われるマイクロ波などの開発・供給を担う(天野)
	日本製鋼所(5631)	95万6300円	0.87%	陸海の主力装備である火炮システムやミサイル発射装置を手掛ける(天野・仲村)
	千代田化工建設(6366)	12万9500円	無配	総合エンジニアリング大手。エネルギー安全保障で重要な役割を担う(雨宮・河合)
	三菱電機(6503)	59万1600円	0.94%	ミサイル誘導装置やレーダーシステムなどの電子装備において不可欠な存在(仲村)
	三菱重工業(7011)	48万1100円	0.48%	防衛省への納入額で他を圧倒する軍事トップ企業(天野・雨宮・岡村・河合・仲村)
	川崎重工業(7012)	171万9500円	0.92%	三菱重工業と並び防衛関連の受注が増加している同ジャンルの大手メーカー(河合)
	マクニカホールディングス(3132)	26万1700円	2.66%	半導体・サイバーセキュリティをコア事業とする技術商社。AI関連部材に強み(天野)
情報通信	NTT(9432)	1万5100円	3.50%	高市政権が掲げる次世代通信インフラ構想「IOWN」を主導する(岡山・仲村)
	五洋建設(1893)	20万5600円	2.15%	港湾、空港、海底トンネルなどの「海洋土木(マリコン)」の最大手(天野・河合)
海洋	日揮ホールディングス(1963)	23万6300円	1.67%	石油精製など海洋資源開発プラントを手掛ける総合エンジニアリング企業(天野)

いち早くマーケットのシェアを獲得する可能性は高いと思います。

また、ペロブスカイト太陽電池の原料となるヨウ素が国内で生産されることも見逃せません。K&Oエナジーグループは千葉県でヨウ素を採掘しており、さらなる株価上昇が期待できます(経済アナリスト・田嶋智太郎氏)

食料自給率の向上と農業の効率化もまた、日本の長期的な重要政策課題だ。元証券アナライサーで個人投資家のたけぞう氏は、政策の行方を投資の指針にしている。

「私は高市さんの発言を常にチェックしていますが、農業分野に関しては頻繁に触れています。高市さんは中国依存からの脱却を考えていると思われませんが、食料自給率の向上もその一つです。25年度から5年間を「農業構造転換集中対策期間」として、集中的な投資を行うとしています。こうした政策を追い風に、農業機械メーカーは最先端技術の

ステップ① プロが厳選した、まだまだ成長する「順張り銘柄」②

ジャンル	銘柄名(コード)	最低投資金額	配当利回り	内容(括弧内は選者)
宇宙航空	スカパーJSATホールディングス(9412)	28万4600円	1.50%	衛星放送で有名だが本業はむしろ衛星インフラなどの宇宙事業(天野・岡村・坂本)
	サイバー・防衛	FFR1セキュリティ(3692)	76万1000円	0.15%
サイバー・防衛	トレンドマイクロ(4704)	49万6000円	3.47%	サイバーセキュリティ分野で最大手。14期連続増収、4期連続増益と成長中(田嶋)
	富士通(6702)	33万1300円	1.37%	国産サイバーの筆頭。防衛省の情報通信システムの開発・構築を担う(天野・岡山)
コンテンツ	東映アニメーション(4816)	22万5500円	1.76%	「ワンピース」など世界的に人気のIPを武器に海外進出とM&Aを加速させる(坂本)
	ソニーグループ(6758)	33万6000円	0.74%	アニメ・ゲームの輸出を強化しエンタメテクノロジー企業へ(雨宮・岡山・たけぞう)
	任天堂(7974)	85万4100円	2.10%	「スイッチ2」から続々と新作タイトルが出る。さらなる成長へ(たけぞう・田嶋)
	サンリオ(8136)	52万4000円	1.24%	IPのライセンスビジネスにおいて圧倒的な利益率を叩き出している(坂本・田嶋)
フードテック	マルハニチロ(1333)	15万2600円	2.72%	3月1日にUmios(ウミオス)株式会社社名変更。完全養殖クロマグロが話題(天野)
	味の素(2802)	46万9700円	1.04%	アミノ酸技術を活かした培養肉などでフードテックを牽引している(岡山・仲村)
	井関農機(6310)	19万8800円	2.36%	農業の生産効率を高めるハードウェアで国策の追い風を受ける(たけぞう・仲村)
	クボタ(6326)	31万3200円	1.70%	自動運転の農業機械などの開発において世界をリード(天野・岡村・たけぞう・仲村)
資源・エネルギー	K&Oエナジーグループ(1663)	52万2000円	1.16%	国産天然ガスの開発・生産・販売と世界有数のシェアを誇るヨウ素事業が核(田嶋)
	伊勢化学工業(4107)	69万4000円	0.56%	次世代型太陽電池に不可欠な原材料「ヨウ素」の製造販売を手掛ける(岡村・仲村)
	積水化学工業(4204)	29万9300円	2.68%	ペロブスカイト太陽電池という太陽光発電の筆頭(天野・雨宮・岡村・田嶋・仲村)
	岩谷産業(8088)	19万4300円	2.43%	水素エネルギーのトップランナー。エネルギーの多角化の中核的存在(天野・岡山)
防災・国土強靱化	東京電力ホールディングス(9501)	6万8600円	無配	高市政権の原発銘柄。データセンターの爆発的な増設に伴う電力不足を補う(岡村)
	大成建設(1801)	190万5500円	1.33%	「土木の大成」と呼ばれ、トンネルやダムなどのインフラ系大型土木に強み(河合)
	大林組(1802)	41万8100円	2.09%	「建築の大林」とも。再開発に伴う超高層ビルや、海外都市の案件も手掛ける(河合)

(自律運航・脱炭素燃料船)に予算が集中しています。

こうした政権の狙いに合致するのが、名村造船所です。同社は自律運航船やガス運搬船の需要増に加え、円安が業績の追い風になる局面を迎えています。さらに、防衛省向けの艦艇の修繕事業も行っていて、「高市銘柄」の筆頭候補に挙げられるでしょう。

また、多くの識者からは船舶用エンジン国内首位の三井E&S(旧三井造船)を推奨する声も上がった。

資源・エネルギー安全保障の分野では、日本発の技術であるペロブスカイト太陽電池に期待が高まる。「曲がる太陽電池」と呼ばれ、従来品よりも軽いため、建物の外壁や乗り物などで活用できると注目が集まっています。

「今年はペロブスカイト太陽電池元年と言ってもいいでしょう。代表格が積水化学工業で、これまでの研究成果を実用化していく段階です。今年から量産を開始する予定で、